

心も体も元気な岡村っ子



おもいやりをもち、
ががやく自分を求めて、
むちゅうになって共に学び
みらいを創っていく子

2月

横浜市立岡村小学校・学校だより R2.1.31 <http://www.edu.city.yokohama.jp/sch/es/okamura/>

岡村小学校で検索

岡村小学校 Version 5.2 行動の星 突き抜けていく

副校長 船山 道太

冬らしく厳しく寒い日が続いています。暦の上では、春を迎えます。6年生は、これまでの学校生活をふり返り卒業アルバムを制作し、また、60周年の記念に創立記念誌の制作にも取り組んでいます。5年生は、最高学年になる来年に向け、委員会活動や縦割り班活動を引っ張っていけるよう準備を始めています。4年生は、延期になっていた上郷宿泊体験学習の実現を願い、仲間と協力し、互いに思いやり、宿泊を伴う初めての学校行事の準備に励んでいます。各学年の学年だよりでは、1年間の学習をしっかりと振り返ることと、次年度を見通した動向がうかがえます。

さて、新型コロナウイルス感染症が拡大し、3年の月日が経ちました。今年度は、中止や制限をしてきた取組を再開することが叶い、保護者様には、学校にお越しいただいて子どもたちの様子などをご覧になる機会が増えました。しかしながら、地域の皆様については、以前、制限がかかった状態が続いております。子どもたちの活躍場面をご覧いただき、教育活動を支えていただくことを、強く願っております。

毎年のように、教育環境はアップデートされています。直接ご覧いただかないと、ピンとこないと存じますが、学校だより2月号では、子どもたちの学習場面の变化について、少しお伝えをさせていただきます。

かつては、学校は冬場になりますと石油ストーブに灯油を入れて、教室を温めていました。目の前で燃料が燃え、近づくと火傷をするので、ストーブを柵で囲っていました。教室には、黒板とチョーク。教科書にノートと鉛筆というのが、一般的でした。箱型のテレビも配置されるようになりましたが、教育番組の鑑賞等が目的で設置されていました。ラジカセがあり、ソフト媒体として、カセットテープ、MD、CD、…とゆっくりと進化してきました。懐かしくも、今はだんだんと、教室から姿を消していきました。

令和5年2月現在、ほとんどの教室に空調が配備され、快適に過ごすことが叶っています。そして、なんとといっても、GIGA1人1台端末です。令和3年度から、試行を始め、令和4年度には普段使いが実現してきました。子どもたちの机の上は、端末、ノート、ワークシート、教科書を必要に応じて組み合わせ、効率よく使い分けられています。教室を離れて、取材活動をする場面でも、探検バックが、GIGA 端末に変わりつつあります。端末は1台で、写真・動画の撮影も、メモも、もちろん録音も可能です。インターネットに接続も可能で、筆記用具がいりません。自分の端末で、学級の友達とも、自宅で学習している友達とも考えの交流ができるようになりました。教室のモニターは指導者の端末と接続されており、共有の画面・学習の流れの掲出、全校また他教室の映像や音声のやりとりも可能になりました。ラジカセは、端末とBlue toothのスピーカーに変わりつつあります。10年以上前になりますが、私が海外日本人学校に派遣されている間、同じ校舎を使用するインター校の各教室では、すでに教室の前には大きな電子黒板が配置されていて、指導者のPCと連動、PCからの出力、タッチペンなどでの書き込みをしていました。当時の欧米の教育環境に、とても驚きました。時代は今、岡村では、わずか1年と半年の間で勢いをもって大きな変革が起きています。学習の風景がすっかり変わりました。小学生が、キーボードをたたいています。私は、教室を訪ねるたびに、自分にできるだろうかと、完全に乗り遅れていることに気がきます。教職員と子どもたちのチャレンジに感謝しています。今後も、行動し続ける岡村小学校をお伝えします。今後とも、よろしく願いいたします。

